

薬剤部だより No.249

山口大学病院薬剤部 2010.10.14



パイルパッカー機器更新予定です

融点の低い薬剤や付着性の強い薬剤、苦味・臭いの強い薬剤、抗癌剤などを分包する機器パイルパッカーを10/18に更新する予定です。

注射薬在庫の見直しが無事終了しました

毎年救急の日(9月9日)に行っている救急薬品セット、外来ストック、病棟ストックの見直しが無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

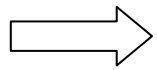
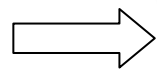
夜間休日は原則として病棟在庫から使用することになっていますので、これらを十分ご活用下さい。ただし特定生物由来製品(血液製剤)を使用する際にはロット管理の徹底をお願いします。なお、外来及び病棟に在庫している毒薬・向精神薬は盗難を防ぐため、厳重に管理して下さい。

自己血糖測定用センサーと穿刺針切り替えのお知らせ

10/7から「ダイアセンサー25枚入」が「グルテストセンサー30枚入」へ、「マルチレット25本入」が「ブラッドランセット30本入」へ変更となりました。いずれも使用中の測定器、穿刺器具を更新することなく、そのまま使用可能です。

従来品

変更品



ザイボックスのオーダ開始

これまで手書き処方箋で対応していました「ザイボックス錠600mg」、「ザイボックス注600mg」が10/1からオーダ開始となりました。なお、オーダするには抗菌薬使用届が必要となります。

ビクトーザ皮下注18mgの適正使用のお願い

インスリン療法を中止してビクトーザ皮下注18mgに切り替えた症例で、糖尿病性ケトアシドーシスを発症し死亡に至った患者が2例、著明な高血糖をきたした患者が7例報告されています。インスリン依存状態の患者(1型糖尿病患者、インスリン治療が不可欠な2型糖尿病患者)へは、インスリンからビクトーザ皮下注18mgへの切り替えを行わないよう、お願いします。

時間外処方に関するお願い

「薬剤部だよりNo.246」で時間外処方箋枚数の減少をお願いしましたが、それ以降も増加傾向です(平日時間外処方箋枚数6月:平均108枚/日、9月:平均112枚/日)。特に“出し忘れ”による翌日使用分が多く、その対応に大変苦慮しています。平日時間外の業務は当直1名の薬剤師が行っており、“出し忘れ”の処方箋が多くなると、緊急性の高い薬剤の調剤に影響します。また、調剤の他、電話での問い合わせや外来患者への対応なども行わなければならない、リスクマネジメント上大変危険な状態になっています。宿日直業務は救急の患者及び、入院患者に関する緊急の処方に対応するためのものです。緊急の場合以外は時間内に処方して下さる様、ご協力をお願いします。

なお、時間外処方の投与日数は原則として平日が1日分、休前日が休日+1日分となっていますので今一度周知徹底をお願いします。

九州山口薬学大会が開催されました

9/19、20に下関市に於いて第72回九州山口薬学大会が開催されました。当院の岡 正朗先生も特別講演でご講演され、盛況の内に閉会しました。

販売会社変更のお知らせ

モービック錠10mgは2011年1月より第一三共株式会社から日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社に変更となります。

削除薬のお知らせ

- ・「ディプリバン200mg, 20mL」の在庫がなくなったため、9/21でオーダ中止。
- ・「ジギトキシン錠0.1mg」の在庫がなくなったため9/24でオーダ中止。
- ・「エルプラット100mg」、「コンクライト Mg 液20mL」、「コンクライト Ca 液20mL」、「ラジカット30mg, 20mL」、「(院)純エタノール20mL」は切り替えのためオーダ中止。